

# AutoCADと一体型データ変換・印刷ソフト ACDTOPRN



Kernel Computer System  
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部  
〒221-0056  
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル  
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501  
URL：<http://www.kernelcomputer.co.jp>

## 特長

AutoCAD を利用した印刷ソフト (DocuWorks, PDF, XPS 出力対応) 【AutoCAD 2002-2019 に対応】

1. AutoCAD (標準版) を使用して、AutoCAD データ (DXF, DWG) を指定したプリンタで印刷します。
2. DocuWorks、XPS Document Writer を利用して XDW、XPS の出力が可能です。
3. モデル空間、ペーパー空間共に変換可能です。
4. AutoCAD データに貼り付けられたイメージデータや OFFICE 等の OLE データもそのまま変換可能です。ただし出力結果は使用するドライバに依存します。
5. PDF 出力または DocuWorks 出力では、シングルページとマルチページの選択が可能です。
6. 元の図面サイズを反映して変換できます。この場合は、図面にページ設定をしておく必要があります。
7. ダイアログアプリケーション (GUI) としてもバッチアプリケーション (GUI) としてもご利用できます。
8. バッチ変換による連続実行が可能です。
9. 変換時に、図面のスタイルに設定されているフォントがサポートファイルに存在するかチェックを行えます。
10. 標準版以外の AutoCAD 製品 (AutoCAD Mechanical 等) が同時にインストールされている共存環境での動作も確認できております。(標準版を利用した動作のみの確認となっています。)
11. レイヤーごとに表示・非表示を設定することが可能です。
12. A 系列以外のカスタム用紙サイズ名を変換時に指定することが可能です。(使用するドライバがカスタム用紙サイズに対応している必要があります。)

### 主な編集機能

- (1) シングルページ/マルチページ変換、縮尺
- (2) 長尺変換

### 注意事項

本アプリケーションを使用する際には Autodesk 社製品の AutoCAD 標準版が必要です。  
AutoCAD Mechanical には対応していませんが、AutoCAD Mechanical をインストールする際に同時にインストールされる標準の AutoCAD を使用しての変換は可能です。  
XDW 出力には FujiXerox 社製品 DocuWorks 6~9 (8.0.3 を除く) のいずれかが必要です。  
XPS 出力には Microsoft 社製品 Microsoft XPS Document Writer が必要です。

### 対応 AutoCAD

AutoCAD 2002, AutoCAD 2004, AutoCAD 2005, AutoCAD 2006, AutoCAD 2007, AutoCAD 2008, AutoCAD 2009  
AutoCAD 2010, AutoCAD 2011, AutoCAD 2012, AutoCAD 2013, AutoCAD 2014, AutoCAD 2015, AutoCAD 2016  
AutoCAD 2017, AutoCAD 2018, AutoCAD 2019

## 対応 OS

Windows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows 10

使用する AutoCAD の対応 OS によって異なります。

## 標準価格

AutoCAD / 印刷・XDW・XPS 変換

: 40 万円 (税抜き)

## 基本画面

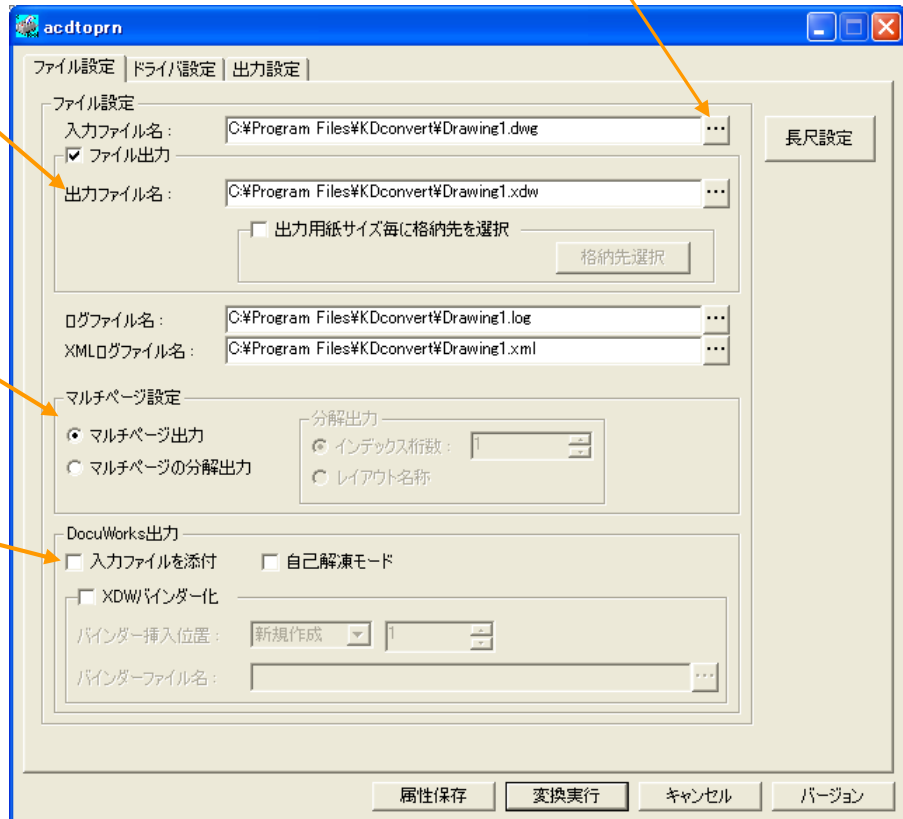
### ◆ ファイル設定

入力ファイル名  
出力ファイル名  
ログファイル名  
XML ログファイル名

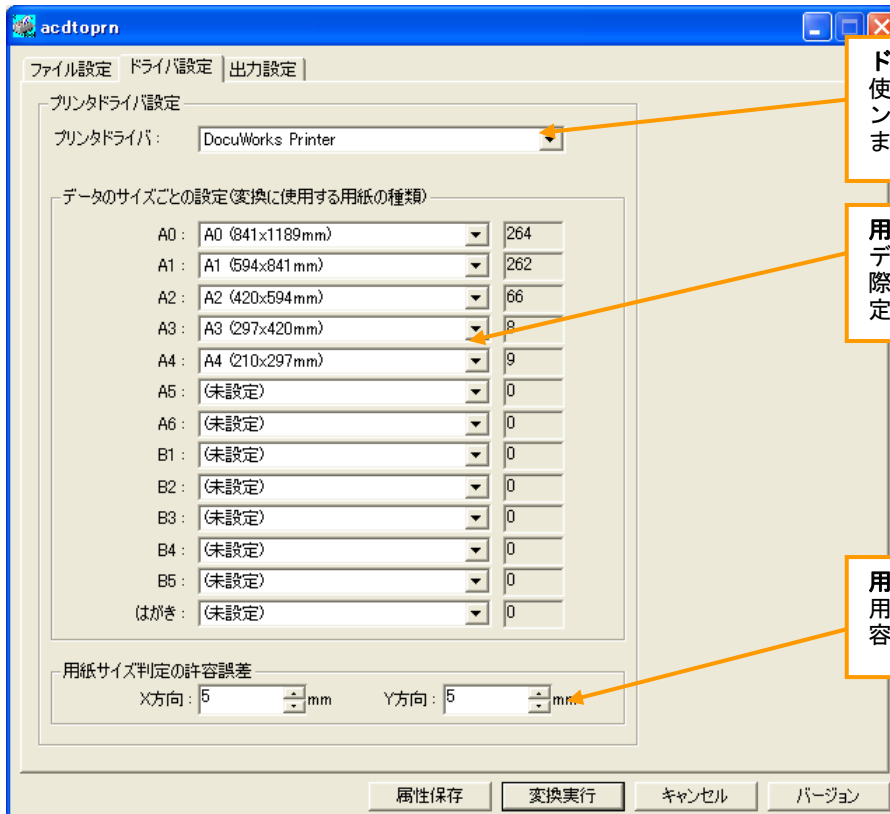
参照ボタン(ファイルダイアログで指定)

マルチページ設定  
出力ファイル名にチェックがあるとき、設定が有効になります。

DocuWorks 出力  
バインダー処理の設定をします。



### ◆ ドライバ設定



ドライバ名  
使用可能なドライバー一覧がコンボボックスに設定されています。

用紙  
データの用紙サイズごとに、実際に印刷に使用する用紙を指定します。

用紙サイズ判定の許容誤差  
用紙サイズを判定する際の許容誤差を設定します。

#### ◆ 出力設定

##### 出力対象空間指定

変換対象をモデル空間とするか、ペーパー空間とするかを指定します。

##### 印刷領域指定

印刷領域に「図面範囲」、「窓」、「オブジェクト範囲」のいずれかを指定します。

##### 印刷オフセット

印刷オフセットの「印刷の中心」を指定します。デフォルトで指定されています。

##### セキュリティ設定

出力した PDF または XDW にセキュリティを設定します。

##### 印刷尺度

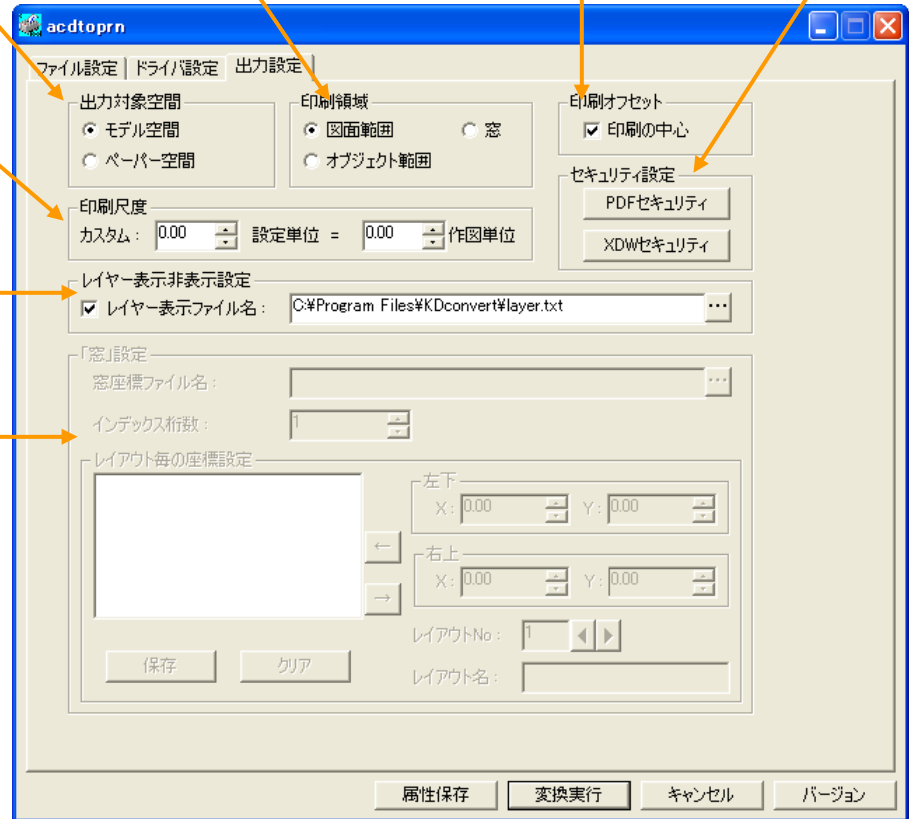
印刷尺度を設定します。元データに設定されている印刷尺度を使用することも可能です。

##### レイヤー表示非表示設定

レイヤーの表示・非表示を設定したテキストファイルを指定します。

##### 窓設定

各レイアウトに最大 8 個の窓が指定できます。



## 主な制限事項

- ◆ モデル空間とペーパー空間のページ設定で用紙サイズを選択(ページ設定)してください。
- ◆ 変換中に AutoCAD 画面が表示されますが、**オペレーティングを行わないでください**。  
正常に変換が行われない場合があります。  
もし、オペレーティングを行い AutoCAD が終了されなかった場合、特に問題はありませんが  
手動で AutoCAD を終了させてください。また、**非表示の状態ではまっている場合**もありますので、  
その場合は**タスクマネージャから AutoCAD を終了**してください。
- ◆ **AutoCAD の LT 版では動作しません**。
- ◆ パラメータは大文字、小文字どちらでも指定できますが、全角文字は使えません。  
また、パラメータとファイル名、ドライバ名等の間に空白を入れないでください。
- ◆ 「窓」の範囲はレイアウトごとに指定可能です。レイアウト 1 つにつき最大 8 件まで指定できます。
- ◆ サービス上での動作には対応していません。
- ◆ 本製品は処理時に“通常使うプリンタ”を変更します。本製品使用時には印刷処理を行わないようにしてください。